

とやま県政をぐっと身近に!

富山県議会議員

井上学県政報告

平成28年 秋号

発行:自由民主党
富山県議会議員会



錦秋の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり、厚くお礼申し上げます。

県民の半世紀近い悲願であった北陸新幹線の開業から早や1年半余りが経過しました。幸い、乗車人員は開業前の3倍近い状況が続き、県内の観光地等での入込み数の増加、企業の本社機能等の一部移転など、様々な開業効果が現れています。今後とも、この開業効果が県内隅々まで行き渡ることを切に願うものであります。

現下の県政や国政を取り巻く諸情勢に目を転じますと、国・地方を通じ、引き続き厳しい財政状況のもとで、地方創生、経済再生、少子高齢化・人口減少対策、震災からの復興、エネルギー政策、安全保障・領土問題など、重要課題への対応が求められています。このような中、富山県がさらに飛躍するために

は、県、市町村、経済界をはじめ幅広い県民の皆様が連携し、多くの課題に果敢にチャレンジしていく必要があると思えます。

先のリオ五輪では、本県出身の田知本遥選手と登坂絵莉選手の金メダル、パラリンピックでは藤井友里子選手の銀メダルと、県民あげて大いに盛り上がり元気付けられました。今後とも、若者も高齢者も、男性も女性も県民の皆さん一人ひとりが夢と希望を持っていきいきと安心して暮らせるふるさとづくりに向け、微力ながら頑張ることをお誓い申し上げます。

また、政務活動費の問題については、議員一人ひとりが襟を正し、情報公開と透明性の確保を積極的に進めるべきと考えます。今後とも、皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成 28 年秋 **井上 学**

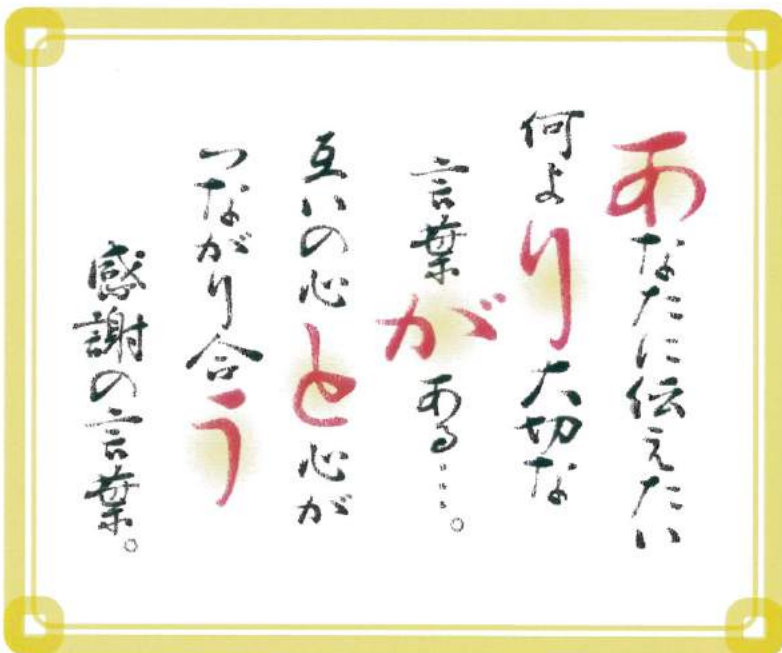
プロフィール

誕生日/昭和33年8月20日 (58才)
婦中町羽根川口生まれ
身長175cm 体重78kg

血液型/A型
家族/妻、妻の両親と4人暮らし
趣味/スポーツ、風景写真
好きな言葉/「ありがとう」

「受けた御恩は石に刻み、
掛けた情けは水に流せ」

古里小学校・城山中学校・富山中部高校
・新潟大学農学部卒業
昭和56年/富山県庁入庁
平成26年/農村振興課長で富山県庁退職
平成27年/富山県議会議員初当選



6月定例会 一般質問

問1 熊本地震の教訓を踏まえた対応について

(1) 本県の災害時における福祉避難所の現状と、今後の対応について問う。

石井知事 答弁

福祉避難所は、福祉的な配慮が受けられる避難施設であり、災害対策基本法により市町村長が指定しなければならないこととなっている。県内の164か所が指定されている。熊本地震においては、福祉避難所への要配慮者の受入者数が少なく、福祉避難所として指定されていても、実際には機能していないとの報道もあったところである。県としては、災害時における福祉避難所の支援者を確保するため、市町村と連携し、平時より、関係機関を通じて、県内の潜在有資格者の情報の把握に努めるとともに、被災地以外からの支援も想定し、近県や全国知事会、民間団体等との災害時応援協定に基づく支援者確保に向けた連携協力を進めてまいりたい。

(2) 大規模災害発生時の仮設住宅等の確保についてどのように取り組んでいくのか。

加藤土木部長 答弁

応急仮設住宅の確保については、これまで、住宅・建設関係団体との災害時応援協定の締結のほか、被災状況を考慮し、住宅の建設に併せて公営住宅の提供や民間賃貸住宅の借上げ供与も行うこととしており、借上げによる場合は、不動産関係団体へ協力を要請することとしている。県では、市町村に対し公共用地の空き地など応急仮設住宅の建設可能用地を把握するよう働きかけるとともに、情報収集を進めることとしている。今後とも、市町村と連携しながら県民の安全・安心の確保に向け、災害への備えに取り組んでまいりたい。



(3) 災害時における民間企業との連携協力体制づくりを積極的に進めていくべきと考えるが、所見を問う。

石井知事 答弁

これまで、県内の各種団体や民間企業等との間において、災害時応援協定の締結を進めてきており、平成28年3月末現在、医師会との医療救護協定等の医療救護分野をはじめ、建設業協会等との土木建設分野、食料や水などの物資等の供給分野、小売業との帰宅困難者支援等の分野など、全体で8つの分野で合計134件の協定を締結しており、締結先である民間企業等の数では北陸3県のなかで最も多くなっている。県としては、今回の熊本地震の発生を受け、さらに協定の必要な分野がないか他県の状況も調査し、万ターの大規模災害に備えた県民の安全・安心の確保に万全を期してまいりたい。

(4) 災害時や緊急時の安否確認などにおいて、公衆電話は有効な連絡手段と考えるが、県内における公衆電話の設置状況と、避難所等への設置に今後どのように取り組んでいくのか、問う。

新田知事政策局長 答弁

県内における公衆電話の設置状況については、NTT西日本からは、平成28年3月末現在で、1,415か所に設置してあると聞いている。

公衆電話は、災害発生時には、災害時優先電話として通常の電話よりつながりやすい特徴があるほか、発災後、NTTにおいて被災者の通話確保のための措置として無料とする場合がある。公衆電話や特設公衆電話については、いずれも被災者の安否確認などにおいて有効な連絡手段であることから、県としては、避難所の生活環境の確保につながる公衆電話の活用促進について、市町村に助言・指導してまいりたい。

問2 ドクターヘリと消防防災ヘリについて

(1) ドクターヘリの状況はどうか、冬季における病院ヘリポートやランデブーポイントでの融雪・除雪の問題があるが、今後どのように取り組んでいくのか。

石井知事 答弁

ドクターヘリについては、昨年8月24日に運航開始して以来、5月末までの9か月余りで既に400件の出勤となっ

ている。また、重症事例の予後調査では、従来の救急車による搬送と比較した場合、治療開始時間が平均 31 分短縮し、死亡者数は 21 人減少するなど、救命率の向上や後遺症の減少・軽減などに効果を発揮していることが検証された。本県のドクターヘリは、冬季期間中はスノースキーを装着するため、30～40cm 程度の積雪までは着陸可能であること、積雪のため着陸できない病院があったとしても、ヘリポートに融雪装置がある県立中央病院や着陸可能な搬送受入病院に搬送することとしており、大きな支障はないと考える。

(2) ドクターヘリの需要が高まる中で、パイロット確保の課題と対策について、どのように認識しているのか。

蔵堀厚生部長 答弁

ドクターヘリについては、平成 13 年 4 月に国内で初めて配備されて以来、現時点では、本県も含め全国で 46 機が配備されている。ドクターヘリは、一分一秒を争う救急救命の現場での活動となることから、操縦士には高度な技術が求められ、業界の自主基準として 2 千時間以上の飛行経歴が必要とされている一方、航空業界全体としては総運航時間が減少傾向にあり、若手操縦士の操縦経験を積む機会が減少し、ドクターヘリ操縦士の高齢化に繋がっていると認識している。本県ドクターヘリの運航委託業者からは、操縦士の確保が困難ということは聞いていないが、国の検討状況も見守りながら、今後とも、ドクターヘリを活用した高度救急医療体制の充実強化に取り組んでまいりたい。

問3 18 歳選挙権への影響と投票率の向上について

(1) 高校生の同学年に有権者と非有権者の生徒がいる中で、非有権者の選挙違反が起きる可能性があるがどのように対応していくのか。

渋谷教育長 答弁

高校では、満 18 歳以上と未満の生徒がともに学んでいることから、満 18 歳未満の生徒に十分な自覚がない場合、友人同士の付き合いや先輩後輩の関係から選挙運動を行う可能性がある。このため、昨年度、文部科学省が作成した高校生向けの主権者教育用副教材では、満 18 歳未満は選挙運動ができないことを始め、電子メールを利用した選挙運動は満 18 歳以上も含め候補者や政党等以外の人ができないことなどが記載されている。選挙違反となる事例なども紹介している。

今後とも、関係機関と連携しながら、主権者教育の一層の充実に努めてまいりたい。

(2) 高校生の投票機会の確保についてどのように対応するのか

渋谷教育長 答弁

部活動や学校行事によって、高校生の有権者としての権利行使を阻害することなく、投票機会を確保することは重要である。

しかしながら、個々の生徒の都合によっては、期日前投票制度を活用せざるを得ない場合もあることから、すべての県立学校の生徒に改めて期日前投票や不在者投票などについて周知するとともに、部活動の顧問に対し、生徒達が期日前投票の時間を確保できるよう、平日の練習時間を早めに切り上げたり、土日の練習時間を調整するなど、適切な配慮を行うよう指示している。

(3) 若年層の投票率の向上を図るため、駅構内や商業施設、大学キャンパス等における期日前投票所の設置などが必要と考えるが、所見を問う。

山崎経営管理部長 答弁

7 月執行の参議院議員選挙からは選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられることも勘案すると、若年層の投票率向上に向けた取組みが大変重要であると考えている。期日前投票所設置などの投票環境の向上は、基本的に市町村選管の所管であるが、市町村に対し、若者が多く訪れる場所における期日前投票所の設置等の全国や県内自治体の先進的な取組みを紹介し、積極的に検討するよう働きかけたところである。県選管としては、今後とも市町村選挙管理委員会、県明るい選挙推進協議会、その他関係機関と連携し、若年層をはじめとする投票率の向上に努めていくこととしている。



問 4 富山南都市計画区域の指定について**(1) 県として都市計画を進める上で、富山南都市計画区域にどのような将来像を描いているのか問う。****加藤土木部長 答弁**

富山南都市計画区域は、大沢野、大山、八尾の3つの都市計画区域を統合するとともに、現在、都市計画区域外となっている旧婦中町の一部をあわせて編入するものである。現在、県においてマスタープランの策定を進めているところであるが、この区域内には、江戸時代から宿場町として栄え発展してきた大沢野地域、豊かな自然環境に恵まれた大山地域、伝統ある文化と風情ある街並みのある八尾地域、広大な田園地帯の広がる婦中南部地域など、それぞれに恵まれた特性があることから、これら地域の特性を活かして、ゆとりと活力のある個性的な都市づくりを目指すこととしている。

(2) より具体的で実現性の高い計画となるよう、関係市である富山市との連携が大事であると考えているが、今後、どのように連携していくのか、問う。**加藤土木部長 答弁**

富山南都市計画区域マスタープランでは、例えば大沢野地域では、笹津駅周辺を地域の拠点と位置づけ、都市機能の集積を促進するとともに、公共交通の活性化による拠点集中型のコンパクトなまちづくりを推進することや、国道41号沿道では、沿道型の商業施設や行政施設、業務施設等が立地することから、適切に商業・業務地の形成を図ることなどとしている。このマスタープランの策定に当たっては、これまで富山市と十分連携・調整を図りながら案を作成してきたものであるが、今後とも適切な役割分担のもと、市と十分連携・調整してまいりたい。

**9 月 定 例 会 予 算 特 別 委 員 会****問 1 お手植え杉と飛騨高山地域との連携について****(1) 旧細入村のお手植え杉の周辺整備について、継続的に支援すべきと考えるがどうか。****伍嶋農林水産部長 答弁**

このお手植え杉は、植樹の意義と森づくりの大切さを後世に伝える貴重なものとして、県では、平成27年度から、お手植えスギ周辺の雑草等の刈り払いや、柵の補修、歩道の整備などの取組みに対して、水と緑の森づくり税を活用した「県民による森づくり提案事業」で補助を行うなど支援してきているところである。今後は、「御手植え杉を守る会」や地域の住民の方々、土地所有者の意向なども踏まえうえて、富山市とも協議して、里山再生整備事業や造林事業の活用なども含め、適正な管理がなされるよう支援に努めてまいりたい。

(2) 旧細入村、砺波頼成の森、魚津桃山運動公園と3か所のお手植え箇所を連携させた森づくりの体験学習等の企画できないか。**伍嶋農林水産部長 答弁**

県としては、来年春に本県で開催される全国植樹祭を契機として、より多くの県民の皆さんが森づくりへの理解を深め、森づくりに取組んでいただく良い機会でもあることから、例えば、県政バス教室でお手植え箇所を巡るとともに、その周辺の森林で「森の寺子屋」を開催し、森を守り育て続ける大切さを現地で学び、体感していただけるコースを設けるなど、お手植え箇所を活用した森づくりの体験学習やバスツアーの充実について、今後、検討してまいりたい。

(3) 県では9月17日からJR富山駅・富山空港と高山駅をつなぐツアーバスを走らせているが、ツアーバスへの期待と評価について、問う。**亀井観光・地域振興局長 答弁**

県では、今年度新たに、富山駅及び富山きときと空港を出発し、八尾や世界遺産五箇山、飛騨古川を巡り高山へ向かう2コース、高山を出発し、白川郷、五箇山、井波を巡り富山きときと空港及び富山駅に到着するコースの計3コー

スを設定している。

10月1日から催行される大手旅行会社でのツアー商品にもこのツアーバスが組み込まれていることから、利用者が増加することを期待している。今後とも、本県と飛騨を巡る広域観光の魅力を国内外に発信し、本県が「選ばれ続ける観光地」となるよう、しっかりと取り組んでまいりたい。

(4) 高山本線の利活用促進を含めて、今後、どのようにして飛騨高山地域との結びつきを強めていくのか、所見を問う。

石井知事 答弁

飛騨高山地域と本県は、古くから経済的、文化的に様々な結びつきがあり、富山駅や富山きとときと空港を飛越の玄関口としてPRし、交流人口の拡大につなげていくことが重要と考えている。高山本線については、特急「ひだ」のダイヤ改正で新幹線との接続が改善されたところであり、高山本線の一層の利用促進に取り組むこととしている。今後、「山・鈴・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録を契機として、首都圏での両県共同プロモーションや旅行商品の企画等を検討してまいりたい。富山高山連絡道路の早期整備について国に働きかけを行い、ドクターヘリの共同運航も開始するなど、広域連携のモデルとして、これまで以上に結びつきを強めてまいりたい。

問2 少子化対策について

(1) 本県の三世代同居の現状について、世帯に占める割合はどのように推移してきており、全国と比較するとどのような状況であるか、問う。

山崎経営管理部長 答弁

国勢調査では、平成7年から三世代世帯数を集計しており、富山県の三世代同居の推移は、平成7年は8万7千世帯で一般世帯数に占める割合は26.0%であった。以降、平成12年は7万9千世帯で22.2%、平成17年は7万世帯で19.0%、平成22年は6万2千世帯で16.1%と世帯数、割合とも減少している。

一方、全国の三世代世帯数については、平成7年は一般世帯数に占める割合は11.9%、平成22年は7.1%と富山県と同様に世帯数、割合とも減少している。

このように、一般世帯総数に占める三世代世帯数の割合は、富山県、全国ともに減少しているものの、富山県の割合は、全国の割合よりいずれの年も倍以上高い状況となっている。

(2) 市町村と連携し、子育て家庭の負担の軽減につながる、三世代同居や近居へのさらなる支援が必要と考えるがどうか。

石井知事 答弁

国においては、リフォーム工事への支援や所得税の税額控除等の支援を行っており、県においても、「住みよい家づくり資金融資制度」において、住宅の購入やリフォームを行う場合に、今年度から県が利子補給を行い、実質無利子化するとともに、近居に対しても、低利融資枠を設けた。さらに三世代同居等の住宅及び住宅用土地の取得に対し、不動産取得税の減免制度を拡充した。融資と税制による支援の同時実施は全国初めてで、相当思い切った制度だと考えている。

また、今後とも市町村と連携し、家族や地域による支え合い等を推進し、子育て家庭の負担の軽減を図ってまいりたい。



問3 インバウンド支援とアウトバウンド促進について

(1) TOYAMA Free Wi-Fi の整備状況と今後の取組み方針について、問う。

山崎経営管理部長 答弁

県内全市町村での整備を目標として TOYAMA Free Wi-Fi の整備を推進しているところであり、既に14市町、93箇所での利用が可能となっている。

TOYAMA Free Wi-Fi については、これまで利用規約の同意のみで利用することができる「ワンタップ方式」を採用していたが、総務省が策定する「無線LANビジネスガイドライン」の改定が行われ、ショッピング街や屋外イ

ベントなどにおける公衆無線 LAN アクセスポイントの設置については、メールアドレスなどの入力が必要な方式での運用が推奨される見込みとなった。このことにより、今後の整備に当たって国庫補助の対象とならないケースも出てくると考えられることから、来月協議会を開催し、セキュリティ対策のあり方等について、改めて検討することとしている。

(2) アウトバウンド促進のため、広く県民に、富山空港を発着とする海外旅行の魅力を PR する等の工夫が必要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。

石井知事 答弁

県としては、就航先の紹介番組の制作・放映や情報誌等での紹介など、広く県民に向けて現地の魅力や路線の利便性について情報発信に努めているほか、国際線を利用した企業・団体等による海外研修や国際交流、修学旅行に対する助成などにより利用促進に努めている。近隣県からの利用も増やすため、エアポートセールスの開催や、長野・上越のマスコミや旅行会社等を対象としたファミツアーの実施、ケーブルテレビでの富山空港や就航地の紹介など、空港利用圏域拡大に努めているところである。

今後とも、航空会社や旅行会社など関係者と連携しながら、県内はもとより近隣県への富山空港の利用を引き続き働きかけることにより、アウトバウンド利用の需要拡大を図ってまいりたい。

問4 産業振興のための若者定着支援基金について

(1) 基金を活用した奨学金返還助成制度について、対象とする学生の範囲や助成額など制度設計はどうなっているのか。

大坪商工労働部長 答弁

「対象とする学生の範囲」については、①県外所在の理工系大学院生の2年生又は県外所在の薬学部6年生のうち、②日本学生支援機構の無利子奨学金又は富山県奨学資金の奨学生で、③大学院修了等の後、富山県内に定住を希望している者としている。

「助成額」については、大学院1・2年生分又は薬学部5・6年生分の(2年間分の)奨学金の全額としている。「出捐方法や出捐額」については、登録いただいた県内企業と県が1対1の割合で基金に出捐するものである。



(2) 今後、UIJ ターンの一層の促進にどのように取り組んでいくのか

大坪商工労働部長 答弁

県では、①首都圏等における学生向けの「元気とやま!就職セミナー」の開催や、②「Uターンフェアインとやま」をはじめとする合同企業説明会の開催などのほか、③東京と富山に「富山くらし・しごと支援センター」を設置し、本県で住み働く魅力の発信強化に取り組んでいるところである。

これらに加えて、今年度は新たに、①県内企業バスツアーの開催、②Uターン女子応援カフェや「30歳の同窓会inとやま」の拡充、③都内で開催される転職フェアや女子学生限定の合同企業説明会に県として初めて出展するほか、県内企業をPRする動画の製作にも取り組んでいる。

今後とも、本県の産業の発展とそれを支える人材の確保を図るため、UIJターンの推進に、取り組んでまいりたい。

問5 交番相談員について

(1) 交番相談員の現在の県内における配置状況、交番相談員一人配置するための所要額について、問う。

白井警察本部長 答弁

交番相談員は、平成6年度以降順次配置し、現在、県下55交番中、49交番に49人を配置しており、未配置の交番は6交番である。

また、交番相談員を一人配置するために必要な予算は、年間約223万円である。

(2) 県内の全交番への早急な交番相談員の配置が必要と考えるがどうか、所見を問う。

白井警察本部長 答弁

交番相談員を配置することで、屋間、警察官がパトロールなどで交番にいない場合でも、地域住民からの事件事故等の届出や各種相談に対応することが可能になり、交番が地域住民の「安全・安心」の拠点としての役割を発揮できることから、交番相談員の配置は、有効な施策の一つと認識している。地域住民の安全・安心を確保するため、厳しい財政事情を踏まえ、財政当局の理解を得ながら、未配置交番への配置に努めてまいりたい。



とやま森の祭典にて福岡の菅笠をPR



オイスカの猿倉山植樹活動



下夕南部自治振興会役員会にて



富山土木センターへ要望
(大庄地区)



千葉県庁訪問



千葉県の障害者雇用の状況を調査



全国植樹祭 in 長野で記念植樹



富山型デイサービス
「くわの里」(大山)の野尻さんと



日本橋とやま館にて



春日温泉まつりにて
社協の皆さんと



林芳正先生が来県



育成会長を務める
ボーイスカウトのキャンプ



細入公民館にて応援演説



石井知事が西笹津の
お手植杉を視察



氷見漁港の朝市を視察



運動会で細入保育所のみならず



野上参議院議員と街宣活動



はこだて未来大学訪問。
公立の情報系単科大学として2000年開学

井上学の主な活動

4月

- 4月3日 各地区春まつり
- 4月4日 行政サービスセンターほか挨拶回り
- 4月6日 小学校入学式
- 4月7日 中学校入学式
- 4月8日 高等支援学校入学式
- 4月9日 県第2支部役員会
高砂願念坊まつり
- 4月10日 魚津市長選出陣式
- 4月12日 北日本政経懇話会例会
市ポート協会総会
- 4月13日 魚津市長選応援演説
- 4月15日 富山西総合病院地鎮祭
隆山会総会
- 4月16日 大沢野、大庄地区自治振興会総会
- 4月17日 県庁OB会総会
- 4月18日 大沢野遺族会総会
総合交通対策特別委員会
- 4月19日 富山南商工会女性部総会
- 4月20日 富山南商工会青年部総会
- 4月21日 党政調会福祉環境部会
犯罪被害者支援PT会議
- 4月23日 熊本地震街頭募金活動
富山南防犯協会総会
- 4月24日 立山山麓森林組合総代会
- 4月25日 富山県護国神社例大祭
- 4月27日 参院選比例区候補随員
- 4月28日 党県連常任総務会
憲法改正勉強会
ふるさとを考える会
- 4月29日 ポーイスカウト育成会総会

5月

- 5月3日 八尾曳山まつり
- 5月7日 県民ふるさとの日式典
- 5月8日 参院選事務所開き
- 5月13日 議員総会
県ポート協会理事会
- 5月14日 党街宣活動
- 5月15日 G7環境大臣会議～16日
- 5月16日 耕友OB会総会
富山南商工会総代会
- 5月17日 地域ブロック政調会長会議
- 5月19日 党友好団体懇談会
- 5月20日 第2選挙区支部ゴルフ大会
- 5月21日 大久保小、神通碧小、しらとり支援学校運動会
富山高山連絡道路総会
- 5月22日 とやま森の祭典
- 5月23日 北日本政経懇話会例会
- 5月24日 総合交通対策特別委員会
下夕南部地区打合せ
- 5月25日 政策討論委員会
- 5月27日 北信越県議会議案大会～28日
- 5月29日 猿倉山フェスティバル
党県連定期大会
- 5月30日 犯罪被害者支援PT会議
日台友好議連総会

6月

- 6月1日 東大久保自治会打合せ
- 6月2日 大沢野工業クラブ総会
- 6月3日 森林組合連合会総会
- 6月4日 全国植樹祭～5日(長野市)
- 6月6日 6月定例会議案提案理由
県東部、観光振興、砂防、医療、看護議連総会
- 6月8日 代表質問
芸術文化、オイスカ議連総会
- 6月9日 MOA、明社会定例会
- 6月10日 一般質問1日目
- 6月11日 オイスカ植樹活動(猿倉)
- 6月12日 党第2選挙区支部総会
- 6月13日 一般質問2日目
スカウト、拉致、山村振興議連総会
- 6月15日 予算特別委員会1日目
自衛隊支援議連総会
- 6月17日 予算特別委員会2日目
- 6月19日 細入方面団操法大会
立山砂防講演会
- 6月20日 経営企画委員会

- 6月21日 議員総会
 - 6月22日 参議院選公示
国道472号線期成同盟会総会
 - 6月23日 参院選地域出陣式
 - 6月24日 県道富山上海線ほか総会
 - 6月26日 社吟会吟道大会
 - 6月28日 参院選企業訪問
- 7月
- 7月1日 参議院選個人演説会
 - 7月2日 参議院選県内応援
 - 7月3日 富山市消防操法大会
 - 7月4日 富山港振興協議会
参議院選大山個人演説会
 - 7月5日 犯罪者支援PT会議
 - 7月8日 参議院選総決起大会
 - 7月10日 参議院選投票日
 - 7月11日 常任総務会
 - 7月12日 大沢野南部地区要望
 - 7月13日 大沢野北部地区要望
 - 7月15日 隆山会地域後援会総会
 - 7月19日 県日韓友好議連総会
 - 7月22日 富山政経懇話会例会
 - 7月23日 知事御手植杉現地
 - 7月25日 経営企画委員会視察～27
 - 7月28日 福祉環境部会
 - 7月29日 犯罪被害者支援PT会議
八木山夜店まつり
 - 7月30日 ポーイスカウト富山市第10回キャンプ
 - 7月31日 とやま世界こども舞台芸術祭

8月

- 8月1日 富山市感謝と誓いの集い
- 8月3日 国道359号線ほか期成同盟会総会
- 8月4日 とやま世界こども舞台芸術祭
- 8月5日 犯罪被害者支援PT会議
- 8月6日 神通会総会
各地区納涼祭
- 8月7日 猿倉ローラースキー大会
- 8月8日 犯罪被害者支援PT会議
- 8月9日 県むらづくり推進大会
- 8月10日 県日中友好議員連盟総会
- 8月11日 地方自治功労祝賀会
- 8月13日 福沢地区盆踊り大会
- 8月15日 県戦没者追悼式
- 8月19日 大沢野戦没者追悼式
- 8月20日 立山山麓音楽祭
大沢野花火大会
- 8月21日 北方領土返還大会
上二杉県政報告会
- 8月22日 日韓友好議連打合せ
- 8月25日 芸文協打合せ
- 8月26日 常任総務会
ジオパーク中部ブロック大会
富山市7地域連絡協議会
- 8月29日 県第2支部県議団会議
- 8月30日 県日韓友好議連訪韓～9/2

9月

- 9月3日 党県連支部長幹事長会議
大沢野中体育大会
- 9月4日 新美地区住民運動会
警察協力賞祝賀会
- 9月6日 党政調会福祉環境部会
- 9月7日 経営企画常任委員会
- 9月8日 土木センター打合せ
- 9月9日 議員総会、都市交流勉強会
- 9月10日 大沢野小、高等支援学校体育大会
セーナー苑50周年式典
- 9月11日 神通峡レガッタ、飛越ふれあい祭
- 9月12日 田知本選、登壇絵羽県民栄誉賞贈呈式
- 9月13日 9月定例会代表質問
総合交通対策特別委員会
- 9月15日 一般質問1日目
- 9月17日 大沢野幼稚園運動会
県芸術文化祭オープニング
- 9月18日 知事選事務所開き
叙勲祝賀会
- 9月19日 一般質問2日目
- 9月21日 党政調会福祉環境部会

- 9月23日 予算特別委員会1日目
- 9月25日 下夕北部住民運動会
消防殉職者慰霊祭
春日温泉まつり
- 9月26日 予算特別委員会2日目
- 9月27日 経営企画常任委員会
- 9月28日 議員総会
- 9月29日 大庄地区自治振興会土木センター要望
- 9月30日 党県連政調会長会議

10月

- 10月1日 大沢野支部役員会
- 10月2日 大沢野武道大会
高内3世代ふれあい会
- 10月3日 決算特別委員会書面審査
- 10月6日 知事選出陣式
- 10月7日 支部総務分会長会議
- 10月9日 セーナー苑祭
知事選地域支部出陣式
- 10月11日 決算特別委員会書面審査
- 10月13日 党県連常任総務会
- 10月14日 県議補選出陣式
知事選個人演説会
- 10月15日 しらとり支援学校学習発表会
- 10月16日 大久保小学習発表会
ふなくら祭り
- 10月19日 決算特別委員会書面審査
- 10月20日 犯罪被害者支援PT会議
農業問題調査会勉強会
- 10月22日 大沢野中学園祭
富山市長杯少年サッカー開会式
- 10月23日 富山県知事選投票日
- 10月24日 党政調福祉環境部会・同視察～25
- 10月26日 市小学校連合音楽会
全員協議会
- 10月28日 学友グリーン会コンペ
- 10月29日 大沢野小学習発表会
大沢野ソフトボール協会納会
- 10月30日 寺家公園平和招福観音縁幕式
- 10月31日 臨時県議会

連絡先

【富山県議会自民党控室】

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
TEL 076(431)5244
FAX 076(441)8421

【事務所】

〒939-2254 富山市高内52-7
TEL 076(467)2359
FAX 076(403)2620
携 帯 090-9767-1098
ホームページ hppt://www.inoue33.net/
E-mail gaku2014@yahoo.co.jp

県議会の詳しい様子は、
富山県議会のホームページで
ご覧いただけます。



http://www.pref.toyama.jp/sections/0100/

■各種要望、座談会開催受付のご案内

皆様からのご意見、ご要望をいつでも受け付けております。事務所までご連絡下さい。また、3人程度お集まり頂ければ、当方よりお邪魔し、出張ミニ県政報告会を開催させていただきます。お気軽にお声かけ下さい。